



上映プログラムのご案内

ホウ・シャオシェン製作総指揮、中 孝介特別出演 『台北カフェ・ストーリー』

台湾のショートフィルム特集、台湾を味わえるオリジナルカフェメニューも

横浜みなとみらいのブリリア ショートショート シアターでは、5月12日(土)～5月27日(日)の期間、『悲情城市』でヴェネツィア国際映画祭グランプリを受賞しアジア映画ブームの先駆者であるホウ・シャオシェン(侯孝賢)製作総指揮、監督・脚本、シアオ・ヤーチュアンによる映画『台北カフェ・ストーリー』(81分)を上映します。奄美大島出身で、デビュー以来、中華圏でもその独特的のヴォーカルにより人気を集めている中孝介さんも特別出演しています。

また、同作品上映にちなみ、5月16日(水)～6月15日(金)の期間は、台湾からのショートフィルムを集めた「台湾プログラム」を上映。こちらは米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジアほか各国の映画祭で上映された秀作ショートフィルム全4作品。併設されたシアターカフェでは、『台北カフェ・ストーリー』と「台湾プログラム」の上映を記念し、オリジナルメニューとしてマンゴーソースを添えたショコラとマンゴーケーキと台湾茶も販売。味覚でも台湾をお楽しみ頂けます。

あなたの心の中で、一番大切なものは？ 映画『台北カフェ・ストーリー』



(C)台北カフェ・ストーリー

「あなたにとって 一番 大切なものは？」
台北で美人姉妹がカフェをオープンする。
このカフェでは「物々交換」が人気に。
物と物を交換するとき、実は物にまつわる
ストーリーも同時に交換している。
そして、姉妹は価値観を変えていく。

作品サイト: <http://www.taipeiicafe.net/>

台北 TAIPEI EXCHANGES
カフェ・ストーリー

台湾プログラム(ショートフィルム全4作品)



ベルリン国際映画祭 2009 銀熊賞受賞作品

『かぎっ子』

(Jung-Hsien Lin / 台湾 / 2009 / 12:26 / アニメーション)
寂しさをつのらせる幼い少女。首元にはパパからもらった“鍵”がぶら下がっている。少女の願いは、パパの帰宅と温かく幸せな家庭だけ。少女にとって鍵は、自分が怖い時や寂しい時に勇気をくれる“お守り”なのだ。

『台北カフェ・ストーリー』上映記念オリジナルメニュー



【フローズンケーキショコラ】【フローズンケーキマンゴー】
400円 ※カフェセット 650円

スポンジ、チョコレートムース、キャラメルなどを幾重にも重ねたショコラ。マンゴー果実たっぷりのマンゴーケーキ。どちらも爽やかなマンゴーソースを添えた、凍ったまま食べられる新食感ケーキ！『台北カフェ・ストーリー』の姉妹をイメージした可愛いケーキです。

『台北カフェ・ストーリー』上映情報

■2012年5月12日(土)～5月27日(日)

時間:10:30～12:00 17:10～18:40 ※5月13日(日)は10:30の回のみ

火曜日休館日

■チケット 一般¥1,800 /学生(学生証提示)¥1,000/小人・ハンディキャップ(付添1名様まで)¥1,000

シニア¥1,500/年パス会員¥1,000 ※クーポン・その他割引適用不可

前売一般(WEB・窓口)¥1,500

※～5月11日(金)まで販売



チケット購入専用
QRコード

■チケット販売開始 4月21日(土)12:00～順次販売

台湾プログラム 上映情報

■上映時間: 5月16日(水)～6月15日(金)

5月16日(水)～5月27日(日) 13:10～14:10 / 15:50～16:50

5月28日(月)～5月31日(木) 10:30～11:30 / 13:10～14:10 / 15:50～16:50 / 18:30～19:30

6月1日(金)～6月15日(金) 11:50～12:50 / 14:30～15:30 / 17:10～18:10 / 19:50～20:50

※6月1日(金)～6月3日(日)は19:50～、6月15日(金)は17:10～・19:50～の上映無し

火曜日休館日

※イベント実施により、上映時間が変更になる場合が御座いますので事前にHPでご確認頂くか、シアターへお問合せください(TEL:045-633-2151)

■劇場

ブリリア ショートショートシアター(HP: <http://www.Brillia-SST.jp/>)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい5丁目3番1 Fil mee 2F

■アクセスみなとみらい線

「新高島駅」徒歩5分「みなとみらい駅」徒歩6分

■チケット大人・学生¥1000／小人(3歳～中学生) ¥800

シニア(60歳以上) ¥800／ハンディキャップ(付き添いの方1名まで同額) ¥800

■チケット販売開始上映日の1週間前より販売

■購入方法鑑賞希望日の1週間前より、シアター窓口、シアターWEB、QRコードより販売

※WEB、QRコードからの購入は、上映の2時間前までとなります

ブリリア ショートショートシアターとは



米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」と連動した日本初のショートフィルム専門の映画館として、2008年、横浜・みなとみらいに誕生。世界中から集まった選りすぐりの作品を1プログラムは60分の中で4～6本上映。館内はレッドカーペットをモチーフに赤を基調とした内観で、カフェではドリンクやフードも充実し、オペラ座でも使われているフランスキネット社の椅子が、ゆったりと心地よいショートフィルムの世界へと誘う。国際映像文化事業としても注目を集めるショートフィルムの活性化、また、将来の映画界を担う若手クリエイターへの才能発掘という想いのもと、横浜・みなとみらいからショートフィルムの魅力を発信しています。

■ 取材・画像・映像素材提供・各種お問い合わせ先 ■

株式会社ビジュアルボイス

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-12-8 SSUビル4F

【オフィス】TEL:03-5474-8844 FAX:03-5474-8202 【シアター】TEL:045-633-2151 FAX:045-633-2156

E-mail: press@shortshorts.org 担当:高橋・川村

資料 『台北カフェ・ストーリー』

あらすじ

夢を叶えるためOLを辞めたドゥアルと妹のチャンアルが念願のカフェを台北でオープンする。ドゥアル・カフェは、コーヒーのアロマ、手製のデザートの香りであふれている。しかし、やっと開店したものの、お客様が入らない。そこで妹チャンアルが、カフェで物々交換を始めるアイデアを思いつく。様々な物が持ち込まれ、そして次のオーナーのもとへと去っていく。やがて物々交換はドゥアル・カフェの一番の魅力となっていく。そして物々交換がきっかけで出会った人たちが、心を通わせていく。

ある日、一人の男性がお店にやって来る。彼は世界35都市で集めたという35個の石鹼を持って来て、何か特別なものと交換したいという。以後、カフェに来る度に語られるそれらの石鹼のエキゾチックな物語にドゥアルの心は魅せられていく。そして、物々交換をきっかけに、姉妹の価値観が変わっていく。本当に大切なものは?台北を舞台に展開するオシャレ感覚溢れるカフェ・ストーリー。

監督・キャスト紹介

監督・脚本:シアオ・ヤーチュアン(蕭雅全)

1976年台湾生まれ。国立芸術学院で美術を選考。1988年より短編映画を、1994年からCMを撮り始める。短編映画とCM製作で数々の賞を受賞している。1998年、製作総指揮のホウ・シャオシェンの『フラワーズ・オブ・シャンハイ』に助監督として参加する。2000年に初長編『命帶追逐(Mirror Image)』で、カンヌ映画祭監督週間出品、トリノ映画祭新人監督賞、福岡アジア映画祭最優秀賞等、国際的に高い評価を受ける。2010年『台北カフェ・ストーリー』を完成させる。

製作総指揮: ホウ・シャオシェン(侯孝賢)

『悲情城市』でヴェネツィア国際映画祭グランプリを受賞しており、アジア映画ブームを作った第一人者。広東省梅県に生まれ、幼少の頃台湾に移住した。1972年国立芸術専科学院卒業後、脚本家、助監督を経て1980年に監督としてデビュー。主に1980年代を中心に脚本家の呉念真、朱天文らとともに『坊やの人形』、『童年往事一時の流れ』、『恋恋風塵』など多くの作品を発表した。楊德昌(エドワード・ヤン)などと並び、1980年代台湾映画界の新潮流である台湾ニューシネマ(新電影)を担った代表的な監督の一人とされている。

ゲイ・ルンメイ(ドゥアル役)

高校生のとき、台北市の西門町でイー・ツーイエン監督にスカウトされ、『藍色夏恋』(藍色大門)に出演デビューした。主な出演作に、『言えない秘密』(不能説的密)。淡江大学フランス語・フランス文学科卒。在学中に、仏リヨン第3大学に交換留学生として在籍。血液型はO型。身長164cm。

※『言えない秘密』は、第44回台湾金馬獎(2007年):(台湾のアカデミー賞)3部門を受賞最優秀台湾映画賞/主題歌賞/視覚効果賞

リン・チェンシー(チャンアル役)

映画初出演。監督のシアオ・ヤーチュアンの手がけたテレビCMに出演したことが縁でオファー。最初の面会でゲイ・ルンメイと本当の姉妹のように見えたので妹役に抜擢。

中孝介(特別出演)

奄美大島のシマ唄で培われたコブシまわしが独特なヴォーカリスト、表現者。鹿児島県奄美大島出身、在住。2006年のデビュー以来、「地上でもっとも優しい歌声」のキャッチコピー通りの優しい歌声、楽曲を多数リリース。下は5歳から上は80歳までと、老若男女幅広い層の支持を集め。2007年にリリースされた3rdシングル「花」(森山直太朗作曲、御徒町凪作詞)がヒット。その後リリースされた1stアルバム「ユライ花」がオリコンウィークリー初登場7位を記録。その後もロングセールスを記録。デビュー以来、中華圏でもその独特的のヴォーカルにより人気を集め。2008年に台湾で公開された台湾映画「海角七号」に本人役で出演。この映画が歴代台湾映画の興行収入を塗り替えるほどの大ヒット。その後発売されたアルバムが台湾チャートで1位を記録。

作品概要

| 81分 | 中国語 | カラー | 2010年 | 台湾 |

邦題: 台北カフェ・ストーリー

原題: 第36個故事

英語タイトル: Taipei Exchanges

監督・脚本: シアオ・ヤーチュアン(蕭雅全)

製作総指揮: ホウ・シャオシェン(侯孝賢)『悲情城市』

キャスト: ゲイ・ルンメイ リン・チェンシー(林辰唏)

チャン・ハン(張翰) 中孝介(特別出演)

プロデューサー: シアオ・ルイラン(蕭瑞嵐)

撮影監督: リン・ジェチアン(林哲強)

美術: リー・トゥンカン(李敦綱)

編集: タオ・チューチュン(陶竺君)

録音: トゥー・ドゥーチ(杜篤之)

音楽: サマー・レイ(雷光夏) ホウ・ジージエン(侯志堅)

日本語字幕: 小川 詩乃 製作: BITプロダクション

配給・宣伝: ユナイテッドピープル

Web: <http://www.taipeicafe.net>

Twitter: @taipeicafe

第23回 東京国際映画祭 アジアの風出品作品

第12回 台北映画祭 最優秀観客賞受賞

第14回 釜山国際映画祭 正式出品作品

第54回 BFIロンドン映画祭 正式招待作品

第30回 ハワイ国際映画祭

ニューヨーク国際映画祭 招待作品 ほか